

自律神経が鍛えられない

“メディア漬け”で室内で過ごす時間が多いためこれまで年齢が上がるにつれて、自然に発達すると考えられていた自律神経系の機能にも異変が見られるようになってきた

昔は、「子どもは風の子」だった

真冬の寒風の中を駆け回り、真夏の太陽の下で汗を流す。これによって小6年頃までに自律神経機能が確立。1990年代以降の調査では、血圧調整不良や体温調節不良の子どもの増加が目立っている。寝不足・朝食抜きで、体温も上がらず脳のウォーミングアップなしで授業を受けている

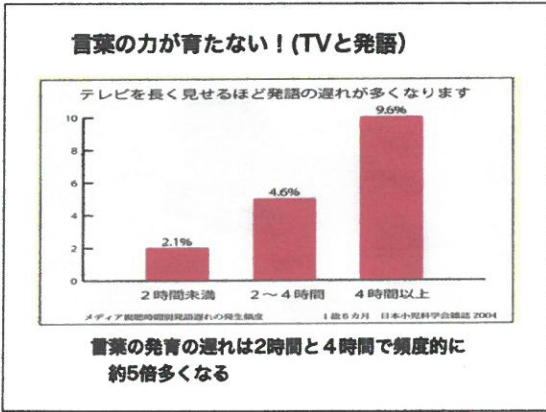
汗かけない若者が増加

休眠汗腺～
能動汗腺の機能不全

熱中症の危険性

四国新聞：H29年7月27日

- 1; 体が育たない!
 - 2; 言葉の力が育たない! (TVと発語)
 - 3; 五感が育たない
 - 4; 脳にも異変が
 - 5; 生命感覚・身体感覚の歪み
-



言葉の力が育たない!

長時間に及ぶメディア接触の時間は、音声言語による応答性のない時間

小・中学の言語形成期に、一言も人と言葉を交わさず長時間メディアに向き合えば、音声によるコミュニケーション能力の発達はきわめて低いレベルにとどまってしまう

「うざい」 「きもい」
「うるさい」 「びみょう」



共通する行動的特徴

- 1: 友達関係が持てない
- 2: 遊びが限られている
- 3: 表情が乏しい
- 4: 気持ちが通わない
- 5: 物を何かに見立てて、想像して遊べない
- 6: 自分から話しかけようとならない
- 7: 他の子どもが近寄ると避ける
- 8: 視線が合わない



そうした子どもたちは、幼児期には噛み付く、引っ掻く、体当たり、奇声などで“表現”し、年齢が上がるにつれて、棒やナイフ、包丁、爆弾、放火などで自分の感情や思いを“表現”するようになっていく



当然自己肯定感も育たない



讃岐っ子 自信ない? 自己肯定感 全国平均以下

「自分に自信がない」という声は、近年増加傾向にある。特に小学生の子どもたちから多く聞かれる。これは、自己肯定感が低いというサインだ。自己肯定感とは、自分自身を肯定的に評価し、自信を持つこと。自己肯定感が低いと、学習意欲や生活習慣に悪影響を及ぼす。原因としては、長時間のメディア接触によるコミュニケーション不足、親や教師からの過度な期待、失敗への過度な反応などが挙げられる。対策として、子どもと向き合い、失敗を恐れず挑戦させることが大切だ。

手伝いをよくする子どもや生活習慣が身についている子どもほど自己肯定感が高くなる傾向



新聞新聞：H28年10月29日

2017年(平成29年)8月29日(火曜日)

県内意識調査 自己肯定感、依然低く 衰められる機会減要因

県内意識調査の結果、自己肯定感が依然として低いことが明らかになった。調査対象は小学生から高校生までの子どもたち。自己肯定感が低い子どもは、学習意欲や生活習慣に悪影響を及ぼす。原因としては、長時間のメディア接触によるコミュニケーション不足、親や教師からの過度な期待、失敗への過度な反応などが挙げられる。対策として、子どもと向き合い、失敗を恐れず挑戦させることが大切だ。

- 1; 体が育たない!
- 2; 言葉の力が育たない!(TVと発語)
- 3; 五感が育たない!
- 4; 脳にも異変が
- 5; 生命感覚・身体感覚の歪み





五感が育たない！

人間の五感の中には、電子映像メディア接触では育たないものがある

五感の食育

子供達の中で

- *触覚 (皮膚) 肌の接触や臭い、
- *嗅覚 (鼻) 食べ物の味に
- *味覚 (舌) 異常な反応を示したり逆に鈍感になる現象がおこる

***視覚
*聴覚**

五感が育たない！

視力だけでなく人工の光、平面画面が視覚を大きく歪めている
人工的な音が聴覚の遠近間隔や自然音を聞き取る能力を劣化させる



スマートフォンやオーディオ機器で音楽などを鑑賞する場合聴力を守るために「1日1時間以内」

聴力をいったん失えば二度と回復しないことを肝に銘じる必要がある

四国新聞：H27年3月

スマホで音楽

【ベネッセ教育研究所】聴覚検査の結果、聴力低下の子どもが増えている。スマートフォンやオーディオ機器で音楽などを鑑賞する場合、聴力を守るために「1日1時間以内」に制限する必要がある。聴力低下の原因は、長時間の音楽鑑賞による聴覚刺激の過剰である。聴力低下を防ぐためには、聴覚刺激の量を減らすことが重要である。

1日1時間以内

聴力低下を防ぐためには、聴覚刺激の量を減らすことが重要である。聴力低下を防ぐためには、聴覚刺激の量を減らすことが重要である。

1；体が育たない！

2；言葉の力が育たない！（TVと発声）

3；五感が育たない！

4；脳にも異変が！

5；生命感覚・身体感覚の歪み



脳にも異変が！

乳幼児期から“メディア漬け”で育った子どもが抑制がきかず親を殺したり、若い親が子育てにキレて子どもを虐待（この15年で30倍に増加）

学校現場では、放置しておく授業が成立しなくなるような子どもが、この5年間で倍増している

“メディア漬け”の生活による愛着障害も含めて、電子映像メディアが深く関わっている。



前頭前野の働きが低下

1. 考える、発明する
2. 人をおもいやる
3. がまんする
4. 挑戦する
5. 集中する

